

令和4年度

# こども園の自己評価表

吉野川市立鴨島東こども園

【評価対象期間】

令和4年4月1日から令和5年2月28日

【評価責任者】

吉野川市鴨島町牛島888番地1  
吉野川市立鴨島東こども園

管理者 増田 隆

## こども園における自己評価の結果

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項目

### ◎ 保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、0歳から小学校就学前までの園児一人一人の発達段階を踏まえた教育・保育に連続的・一体的に取り組んでいる。全体的な計画や年間指導計画を基本とし、週案・月案を作成し、園児の理解を深めたり、保育・教育を振り返ったりしている。コロナ禍の影響を受け、地域との交流が思うように進まない状況ではあったが、互いが連携し、できる範囲での取り組みを行った。今後は交流しやすい地域の特性を活かした保育・教育を積極的に進めていきたい。保護者には、重要事項に関する説明書や園だより等で園の方針や目標を伝え理解を促している。園アンケートで得た保護者の意向等も反映し、こども園の全体的な保育・教育計画を必要に応じて見直し、職員が協力して目標に向かって取り組んでいけるようにしたい。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を活かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を活かし全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育・教育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				園児の心身の成長発達に重要な時期の保育・教育に携わっているということを職員は認識し、資質・向上に努めながら保育・教育に取り組んでいる。職員は、全体的な計画を基本とし、月及び週の指導計画を作成し園児の理解を深めたり、保育・教育を振り返ったりしている。0・1歳児や個別の支援が必要な園児については、園児の実態を把握し一人一人に対応したものを作成している。保育についての自己評価を行い丁寧に記録し、その後の保育に活かすように努めている。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				園児の生活リズムに配慮し、各年齢の発達に即したプログラムに取り組んでいる。必要に応じて柔軟に対応している。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			年度初めに職員会議で行事や担当職員を決めている。前年度の行事記録を振り返り、課題を明確にし、見直し計画している。今年度もコロナ感染症対策に配慮し、参加人数を制限し、開催方法を検討しながら工夫して実施した。行事については綿密に計画し、職員間で共通理解を図りながら取り組んだ。運動会等の保護者参加の行事については保護者会で協議して行うようにしてきた。園アンケートでの意見や感想を参考しながら、今後もよりよい運営ができるようにしていきたい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。	○				
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			職員配置については工夫し、職員が協力して取り組むことができる体制を整えている。日々の配置については、全職員が把握できるようにボードで知らせている。また、仕事の分担、割り当ては適当であり、職員間で協力しあって進めることができているといえる。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。	○				
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				職員会議は定期的実施している。職員が積極的に意見が言い合える雰囲気をつくり、情報交換や共通理解を図っている。園のよりよい運営に反映できるように努めている。
		職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力(2) 力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢・クラス別目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」や「全体的な計画」に基づき、各年齢やクラス別に保育目標を設定、また、乳幼児の実態に即して設定している。同年齢及び異年齢児間の活動については、コロナ禍であり、制約も多かったが、感染状況が落ち着いている時などは対策を講じながら様々な活動に取り組むように努めた。職員同士が常に連携を図り、園児の発達を考慮した活動を取り入れ実践している。各計画、記録等は定期的に提出している。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(4) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的な保健対策を講じているか。	○				年度初めに年間の避難訓練(火災・地震・水害・不審者対応)を計画し、それに基づいて月に1度実施している。実施後は各クラスごとに訓練の振り返りを行い、次回の訓練に活かすことができるようにしている。交通安全指導については、今年度は小学校の交通安全教室に参加した。また保育活動の中で行う園外保育や毎朝の立哨等を通して安全確認や通行の仕方等を指導している。感染症等に関しては、適切な情報を保護者に周知していくことを心がけている。マチコミメールや文書で啓発・注意喚起を行っている。
(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。			○				
(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。			○				
つ情報てに	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。	○				個人情報保護方針に基づき、職員は守秘義務に遵守している。個人情報が含まれる書類等については慎重に取り扱い保管している。公文書收受、発送等は適切に処理している。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				建設・設計業者による施設や遊具の定期点検を行っている。月に1回、職員による施設や遊具の点検も行い、気になる箇所については適宜修繕している。遊具・用具等は、安全面も考えながら扱いやすい片付けを行い、整理・保管に努めている。不審者対応では、事務所のモニターを通して園周辺の状況を確認している。送迎時に保護者に保護者証を携帯してもらい、職員が送迎する保護者の確認を行っている。掲示物について、パーテーション等を有効に活用し、送迎時に保護者が見やすい場所(園舎中央部)に設置するようにしている。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○				
出納経理	(1) 保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				保護者会役員において会費の利用状況を説明している。保護者会監事に監査を受けて適正に処理している。	

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれたこども園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			校区内の中学校とは保育実習や職場体験学習などを通して、中学生と園児がじっくり関わる機会をもつことができた。中学生の優しさに触れ、楽しい時間を過ごすことができた。隣接する小学校とはコロナ禍の中ではあったが、交通安全教室や1年生との交流などを実施することができた。予定していた5年生との交流はコロナ感染拡大により中止になったが、小学校職員とこども園との交流の在り方について話し合うなど、次年度以降につながる関わりをもつことができたので、今後はさらに情報交換をし、綿密な計画を立案して交流活動を実施していきたい。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。			○		
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		保護者以外を対象とした参観は安全面やプライバシー等の観点から実施は難しいと考える。保育参観については感染対策を講じながら、クラスごとに時間を設定して一日で実施をした。地域の人材活用や地域社会・他の施設との交流、地域の行事等の参加については、公民館祭に作品出展という形で参加した。今後は交流の仕方を工夫し、様々な人々と関わる機会を増やしていきたい。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			子育て支援室を週3回開いており、地域の保護者が乳幼児と一緒によく利用している。また、定期的な育児疲れ等で一時預かり保育の利用も多かった。園庭開放は昨年度より回数を多く実施できたが、感染拡大の時期は中止することもあった。職員による子育て相談は、市保健師や市栄養士なども来園し定期的に実施している。専門機関とは連携を密に行っており、今後も保護者にとって必要な情報が得られるよう協力していきたい。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) こども園だより・ドキュメンテーション、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			毎月の園だよりで、行事予定や生活の様子、クラスごとの保育・教育目標を伝えている。必要に応じてマチコミメールで情報を提供している。園での保育・教育活動等については園舎内に活動の様子を写真で掲示し知らせている。発信の方法については今後よりよい方法を検討していきたい。小学校等に対しては園の行事や子育て支援事業についてわかりやすく知らせる工夫をして発信していきたい。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		第三者評価については、今後導入していかなければいけない課題である。第三者委員の主任児童委員には園に来ていただき、施設の見学や運営状況について説明を行った。今後は行事等の参観なども計画的に実施していきたいと考えている。保護者には園アンケートを行い結果を知らせている。園に対する様々な意見を真摯に受け止め、改善すべきところは改め、次年度に活かせるよう取り組みを進めていきたい。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			